

# 青葉会ホームページより

松原 伯姓・赤星 智子

「三田高校定時制同窓会と同級生のページ」というページを開いて、一年がたちました。九月四日現在で、一、二八一名の方が訪れています。

最近のお便りの一部を紹介いたします。

奄美大島在住で四十六年卒の森英也さんが九州民謡大会出場のために上京予定です。四十三年卒の同級生のお兄様からいただきました。

掲示板には同じ四十六年卒の同期会開催準備のためのみなさんからの連絡を、栗原さんがお願いしています。

訪問者数に対して、書き込みやメールはまだまだまだ少ないのが現状です。この「ともかき」をご覧の方々も、つどつどご訪問していただくことも、是非、近況やあるいは懐かしいお話をホームページにお願いします。

グーグルなどで、三田高校定時制、同窓会で検索できます。



[http://www.geocities.jp/mita\\_aobakai/](http://www.geocities.jp/mita_aobakai/)

## 昭和四十二年卒 渡辺 孝夫

二〇〇六年十月二十八日八重洲大飯店にて昭和四十二年三月卒業生の同期会が開催されました。最初のころは、五年ごとに開催の予定が三年ごとになり、二年ごとになり第十回目の開催となりました。そのうち毎年の開催になるのではないかと見通してあります。現に私の中学のOB会、大学のゼミのOB会は毎年開催となり、出席できる機会を増しております。

さて、三田高校同期会は、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、神奈川等から参加することと女性が多いこと等を考慮して、午後一時～四時を一次会、時間の許す方は、さらに三六時～九時、だんだん人数は少なくなりませんが、楽しい時間を共有できました。会に参加できた喜びを胸に散会でした。団塊の世代なので、話題はもっぱら、健康や年金、

退職金老後の生活プラン等々でした。

流山市の東葛病院で闘病生活をされておられる石関力太郎先生を二度程お見舞いした報告もしました。先生は九十才(本人談)とご高齢ですが、教え子や先生方のことを良く憶えておられ、在学当時の思い出話などを楽しくしました。

同期生の中では、昭和十五年生まれの私、渡辺が最年長で、現役で入学した仲間とは八才の開きがありました。通学は、営業の仕事のためスーツ姿で、学生服の現役生とは年の差を感じておりませんが、今ではまったく感じなくなりました。須磨先生も私より二才くらい年上だと思えます。先生も生徒も区別がつきにくい状態です。

## 昭和四十三年卒 森 直弘

久々に山中君のHPを覗いたら素晴らしい同窓会のホームページが出来ているではないですか。

これを作成された、松原先生に感謝いたします。私のHPにも早速リンクいたします。

今まで、時々「ともかき」も送られて来ましたが、残念ながら最近送られてきません。今回の素晴らしい「ともかき」送っていただけるとありがたいのですが・・・  
これからもこのHPが長く続くことを願っています。  
\* \* \* \* \*

## 昭和四十六年卒 栗原 博史

赤星先生 覚えていますか。コーラスクラブでお世話になった栗原です。このようなHPを開いて下さった事心より感謝致します。

四十六年卒の同期会が二〇〇五年十月に開かれたので参加しました。参加者は二十人程でしたがとても楽しい時を過ごす事ができました。次回はもっと盛大なものにしたいので、ここを借りて呼び掛けさせてもらいます。参加出来る人も出来ない人も、連絡ください。

## 昭和五十年卒 大山(木村)輝

赤星先生お元気そつでなによりです。初めて見ました。井上さんがお世話になった様ですね。

うち等の同級とは音信不通です。このHPを見てくれればいいのですが、  
当方は岩手でがんばっていますよ。

## 昭和五十七年卒 吉永 和彦

松原(赤星) 先生初めまして。ちょうど入れ違いで入学した頃だと思えます。都内に住む学年違いの同級生にもこのページを教えました。書き込みはしないかもしれませんが、担任の先生と同級生と会ってみたいと思えます。いろいろ忙しいと思うので会えないとは思いますが。このページがあれば、何れ和が広がると思います。また、適当に感想など書き込んでいきます。

# 生越(旧姓・亀ヶ谷)さんを偲んで

昭和二十八年卒

鳴戸 錦子

旧姓亀ヶ谷さんが亡くなったとの知らせを受け驚きました。五月二十日の高輪台小の同窓会でお会いしたばかりでした。彼女は私より一年上でしたが、私は五年生のとき強制疎開での転校生で、小学生時代は知りませんでした。

事情を知らない人達から心無い言葉を言われ傷付いたこともあったようです。私の責任ではないのにと、ここにも戦争の傷跡があったのです。

彼女は二十年の空襲の時、負傷しました。あの時は高輪一帯もところどころ爆弾が落ち私も伊達屋敷に大人と一緒にバケツを持って消火に行ったのを覚えていま

小学校の同窓会の日、同学年の女性が誰も出席して居ないので話相手が居ないので帰ると言われ十数分でした。受付で立ち話をしなかったことが最後になるとは思いませんでした。

彼女は一年ほど治療を受け、三田の定時制で同級になりました。顔と手足を負傷し、さぞ無念なことだったでしょう。偶然、地下鉄のホームでご主人と男女の二人のお子さんと一緒に、結婚されて幸せな姿をみて安心しました。ご自分の身を嘆かず、不自由な手で、編み物もし、前向きに生きる姿がありました。

過日、居住地域の草取りの当番をして帰宅された後、疲れたといって休まれたこと。そして帰らぬ人となりました。三田の同期会には時々出席され、お元気な様子をみていましたので驚きました。

例えば小学六年生の時に負傷し、それから数十年を一生懸命に生きてこられました。ここに、同期生のひとりとして心よりご冥福をお祈り申し上げます。